

触媒向け三酸化アンチモン PATOX-C

ポリエステル重合触媒としての三酸化アンチモンは他の触媒と比べ、安価であり、また合成されたポリエステルが着色しにくいという特性があります。

当社 PATOX-C は、ポリエステル製造反応の触媒作用に特化した特別グレードで、本製品は、当社が 40 年以上にわたる研究と改良への取り組みの結果として開発したもので、国内外で多数の適用実績を持っています。

表 触媒向け三酸化アンチモン PATOX-C 品質規格

品質特性	規格値
Sb ₂ O ₃ %	99.7以上
As %	0.05以下
Pb %	0.006以下
Fe %	0.003以下
Cu %	0.001以下
Ni %	0.001以下
Cl %	0.001以下
SO ₄ %	0.01以下
色調 L*	93.0以上
粒径 μm	0.80~1.80
濁度(塩酸)※	12以下

※カオリン分散液のカオリン濃度(ppm)に相当する濁度を基準とし、PATOX-C 1.5g を 30mL の塩酸に溶解して得られる濁度を数値化しています。

特性

ポリエステル重合触媒としての三酸化アンチモンは Ge 系触媒と比べ安価であり、Ti 系触媒と比べ安価で着色しにくいという性質を持っています。三酸化アンチモンがポリエステル重合に用いられる際は、エチレングリコールに溶解される場合多いですが当社 PATOX-C はエチレングリコールに対する溶解性が非常に優れており、溶解後にほとんど残渣が残りません。そのため、ポリエステル製造プロセス中に三酸化アンチモン起因のメッシュ等の詰まりが発生せず、メンテナンスが容易に行えるという利点があります。

また、本グレードを使用して製造されたポリエステルチップや繊維は、色ムラが極めて少なく、製品の着色が非常に安定しており、繊維における「切れ」の問題が発生しにくいです。

<https://www.nihonseiko.co.jp/>



本 社
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-2
TEL 03-3235-0021(代表) 03-3235-0031(営業)
FAX 03-3235-0034

大阪営業所
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-11大同生命南館
TEL 06-7711-0120
FAX 06-7711-0121

中瀬製錬所
〒667-1111 兵庫県養父市吉井1198
TEL 079-667-2121
FAX 079-663-5000